

2026 年度 事業計画書

(2026 年 4 月 1 日から 2027 年 3 月 31 日まで)

定款第 3 条の目的を達成するため、定款第 4 条に基づき次の事業を行う。なお、下記記載金額は直接経費である。

【1】図書館振興助成事業

(1)2026 年度振興助成の交付を実施する。

2026 年度振興助成は 2025 年度中に公募を行い、添付に示す事業者を決定した。
2026 年 4 月以降に交付を行う。総額は 51,043,841 円。

(2)2027 年度振興助成の公募を実施する。

事業予算 7,000 万円を助成する。

応募要項を財団ホームページに掲載し、公募する。

以下のテーマについて公募を行う。

①図書館運営に対する助成

②調査・研究およびその実践・実験に対する助成

③図書館をはじめとする文化・教育資源保有施設が所有するコレクションの活用を推進する事業に対する助成

④「調べる学習」「読書活動」の推進に対する助成

公募期間：2026 年 8 月～10 月

選考時期：2026 年 11 月～2027 年 1 月

交付時期：2027 年 4 月以降

1 件あたり助成金上限：①②③④原則 1,000 万円

- 審査料及び交通費等諸経費として 33 万円事業費を予定する。

(3)助成団体への視察を実施する。

過去の助成団体へ選考委員による現場の視察を実施する。

視察を実施することで、助成団体の進捗状況の確認及び効果・成果を確認する。同時に、視察による情報を今後の事業運営に役立てる。

- 視察費用として 20 万円事業費を予定する。

【2】図書館利用促進事業

(1) 第 30 回「図書館を使った調べる学習コンクール®」の実施

① 下記を目標に実施する。

目的 図書館の利用促進と調べる学習の普及

目標 応募作品数 :130,000 作品 (2025 年度 127,459 作品)

地域コンクール数:175 コンクール (2025 年度 171 コンクール)

地域コンクール開催の募集期間:2026 年 4 月～2026 年 5 月末

地域コンクールからの推薦作品を全国コンクールで審査する。

地域コンクールを開催していない地域からの応募作品は、図書館振興財団で受け付ける。

全国コンクール作品募集要項

募集する作品:公共図書館や学校図書館を使って調べ、過程や結果をまとめた作品

テーマは自由

「図書館を使った調べる学習」を支援した活動をまとめたレポート

募 集 部 門:調べる学習部門

小学生の部、中学生の部、高校生の部、大人の部(大学生・社会人等)、
子どもと大人の部

※大学等の専門機関における研究成果は対象外とする。

募 集 期 間:2026 年 9 月 7 日～10 月 6 日必着(予定)

結 果 発 表:2027 年 1 月 13 日(予定) コンクールサイト上

表 彰 式:2027 年 3 月上旬(予定)

賞(申請予定):(作品表彰)

文部科学大臣賞、観光庁長官賞、「2030 生物多様性枠組実現日本会議」
賞、国立劇場賞、優秀賞、優良賞、奨励賞、佳作

(地域コンクール主催者表彰)

総務大臣賞、「図書館を使った調べる学習」活動賞

後援団体(申請予定)

文部科学省/観光庁/環境省/総務省/2030 生物多様性枠組実現日本会議/
東京都教育委員会/一般財団法人日本児童教育振興財団/公益財団法人海外
子女教育振興財団/公益財団法人大宅壮一文庫/公益社団法人日本図書館協
会/公益社団法人読書推進運動協議会/日本児童図書出版協会/読売新聞社/
活字文化推進会議/株式会社毎日新聞社/株式会社日本教育新聞社/株式会
社教育新聞社/一般社団法人全私学新聞/株式会社教育家庭新聞社/NHK

協賛団体(申請予定)

丸善雄松堂株式会社/株式会社図書館流通センター/株式会社カーリル/株式
会社丸善ジュンク堂書店/独立行政法人日本芸術文化振興会(国立劇場)

- ② 2025 年度(第 29 回)の入賞作品のうち、文部科学大臣賞、観光庁長官賞、「2030 生物多様性枠組実現日本会議」賞等の受賞作品の中からレプリカ(複製)を作成する。財団ホームページで全ページ公開する。
- ③ 「図書館を使った調べる学習コンクール」を一定地域内で開催する「地域コンクール」を募集し、応募作品数を増やし、調べる学習の更なる推進活動を行う。
- ④ コンクールの主旨と合致する他者の事業を後援する。
- ⑤ 調べる学習指導者による講座・研修等
自治体等の要望に応じ、財団の講師が各地の講座・研修等に携わるほか、指導実績のある講師を紹介することにより、調べる学習のさらなる推進を図る。
 - 協賛金等を含め計 210 万円の収益を予定する。
 - 表彰式および審査会の開催、および募集にかかる経費等として 3,595 万円の事業費を予定する。
- ⑥ 図書館を使った調べる学習コンクール実態調査
第 30 回という節目を迎えるにあたり、「図書館を使った調べる学習コンクール」の実態を調査し、「図書館を使った調べる学習」の意義、成果と課題を明らかにするのを目的とする。
2025 年度に行った WEB アンケートを専門家に依頼し、コンクールの成果・課題を分析する。
 - 実態調査のための諸経費として 343 万円事業費を予定する。
- ⑦ 探究学習・調べる学習ひろば
教員、学校司書、司書等を対象に探究学習に関するオンライン配信やイベントを実施する。探究学習の指導者・支援者等との情報交換および関係性構築等を目的とする。

(2)選書事業

近刊情報を元に、図書館にふさわしい本を選書することを目的に、下記 2 分野において原則、毎月選書し、選書結果を財団のホームページで公開する。

- ①新刊選書事業…主に公共図書館にふさわしい本の選書を行う。
- ②専門書・学術書選書事業…公共図書館等にふさわしい専門書・学術書の選書を行う。
- 選書員謝金等諸経費として 134 万円の事業費を予定する。

(3) 友の会「図書館の学校」の運営

財団の事業への支援を目的に、友の会「図書館の学校」を運営する。

会費は 1 口 3,000 円とし、会員 1,000 人を目標とする。

- 会員管理のための諸経費として 12 万円事業費を予定する。

【3】図書館活性化事業

(1) 機関誌『図書館の学校』の発行

- ① 図書館振興助成事業および利用促進事業等の周知を目的に、機関誌『図書館の学校』(季刊)を発行する。事業の結果報告だけでなく、事業の有効性を伝える記事を企画する。
- ② 一刊の発行部数は 1,400 部を予定する。友の会「図書館の学校」の会員には無償とし、その他は原則有償(本体1冊 1,000 円)頒布とする。
- ③ 過去に掲載された記事のホームページでの公開を進める等、有効活用策を検討する。
 - 会員外販売および広告収入等含め計 220 万円の収益を予定する。
 - 取材・編集および頒布等諸経費として 1,390 万円事業費を予定する。

(2) 「第 28 回図書館総合展 2026」への参画

- ① 財団活動事業全般の理解を広めるとともに社会的関心を高めるための、ブース出展等広報活動を行う。
- ② 「第 28 回図書館総合展 2026」本展において、フォーラムを開催し、コンクールの実態調査(中間)発表を行う。
- ③ 「第 28 回図書館総合展 2026」本展および地域フォーラム等において、コンクールに関連したワークショップ等を実施する。
 - 出展料、装飾等諸経費として 370 万円の事業費を予定する。

(3)研修事業

今年度は、時代に即した研修事業を検討する期間とする。

(4)提案型事業

新たな図書館サービスの構築を目的とする提案型事業について課題を検討する期間とする。

【4】不動産の貸付に関する事業

公益目的事業の推進に資するために行う不動産の貸付に関する事業を実施する。

2026 年度における地代収益は 420 万円、費用は固定資産税等 76 万円を予定する。

【5】共通事業

上記【1】【2】【3】【4】の事業の共通諸経費として、7,336 万円の事業費を予定する。

以上